

# 今年度の主な事業



2～3ページに掲載した予算を使って、次のような事業を予定しています。

## 1. 健康・福祉

### ▶救急医療事業 8,484万円（健康推進課）

医師不足、看護師不足の中、限られた医療資源を有効に活用するため、一次・二次救急の役割分担を明確にし、二次救急医療機関の業務軽減を図るとともに、一次救急体制の充実に向けて、長期的な医療体制を構築します。また、医師などによる24時間対応可能な電話医療相談サービスを引き続き提供します。

### ▶放課後児童施設整備事業 5,468万円（こども家庭課）

子どもを安心して預けることができるよう、放課後児童施設の統合・整備に取り組んでいます。今年度は、上野西小学校区における待機児童解消のため、新たに旧ふたば幼稚園跡地に放課後児童クラブを建設し、児童健全育成の充実を図ります。

### ▶介護予防・生活支援事業 2,869万円（介護高齢福祉課）

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、緊急通報体制等整備事業や軽度生活支援、生きがい活動支援通所事業など介護保険制度の対象外となるサービスの提供を行います。今後ますます需要が高まる中で、必要なサービスと費用負担のバランスを取りながら支援や助成を行います。

## 2. 生活・環境

### ▶防災関係経費 8,622万円（総合危機管理室・消防救急課）

防災および危機管理に関する経費で、防災計画の修正や危機管理におけるマニュアルなどの策定を行うほか、非常食などの防災資機材の購入・保管、避難所誘導標識の設置を行っています。また、非常時における情報伝達手段である防災行政無線の日常における適正な保守維持管理を行っています。

このほか、県と合同での総合防災訓練や土砂災害警戒ハザードマップ作成、防災行政無線整備などを行います。

### ▶しらさぎ運動公園整備事業 7,880万円（都市計画課）

新たな生涯スポーツのニーズに対応し、誰もが幅広く利用できる多機能な役割を担う公共緑地として公園整備を行います。また、地域防災拠点としての機能も備え、地震や風水害に対する防災対策の充実を図ります。今年度は、用地取得に加え整備工事に着手します。

### ▶市街地再開発事業特別会計繰出金 7億3,748万円（中心市街地活性化推進室）

上野市駅前地区市街地再開発事業に対する一般会計からの繰出金です。繰出しの対象は、市街地再開発事業特別会計で実施する施設や道路整備などに要する費用のうち、国庫補助金などの財源を差し引いた残りの分となります。今年度は、再開発ビルの本体工事の完成を予定しています。

### ▶都市公園安全・安心対策総合支援事業 3,070万円（都市計画課）

都市公園内に設置されている遊具の中には老朽化が進み、利用が制限されているものがあります。このため、遊具の更新や施設のバリアフリー化を行い、子どもや高齢者をはじめ、誰もが快適に安心して利用できる公園の整備を行います。

## 3. 教育・文化

### ▶上野南地区中学校建設事業 14億9,125万円（教育総務課）

上野地区校区再編計画の実現のため、中学校区の再編に取り組んでいます。城東中学校に続いて、丸山中、成和中の2校を上野南中学校として再編します。来年4月の開校をめざして上野南中学校の校舎や屋内運動場などの整備を行います。

### ▶俳句のくにつくり拠点施設建設事業 1,494万円（企画課）

（仮称）芭蕉翁記念館基本計画に基づき、俳句のくにつくり拠点施設の建設事業を進めます。拠点施設の建設と展示の基本設計に向けた業務を委託し、事業計画の策定に取り組みます。

### ▶（仮称）生涯学習センター整備事業 6億7,070万円（生涯学習課）

生涯学習事業の拠点施設として、（仮称）生涯学習センターを市駅前再開発ビル内に整備します。センターには多目的研修室や展示ギャラリーなどを整備し、世代や地域を越えた交流により中心市街地の活性化も図ります。

## 4. 産業振興

### ▶鳥獣害防止事業 2,554万円（農林振興課鳥獣害対策室）

年々増加する有害鳥獣による農産物の被害を防止するため、電気柵など共同防止施設を設置する地域に対して、施設設置に必要な資材購入費の一部を助成します。

サル被害に対しては、サルに電波発信機を取り付け、サル群の生態行動を監視しながら出没時の追い払いの効果を高めます。また、アライグマの防除も引き続き行います。

### ▶観光振興経費 5,701万円（商工労働観光課）

観光振興にかかる経費で、特に伊賀をPRする忍者や地域資源を活かした事業を展開するとともに、都市部への観光キャンペーンおよび情報発信活動を積極的に実施し、更なる観光客の誘致を図ります。今年度は、伊賀上野城が築城400年となることから、「高虎サミット」など築城400年記念事業を行います。

### ▶企業立地促進経費 1億8,369万円（商工労働観光課）

公的工業団地「ゆめばりす伊賀クリエイイトランド」は完売しましたが、企業の立地状況はまだまだ厳しく未操業の企業があるため、新たな雇用の創出につながるよう、引き続き立地予定企業の早期操業に向けた支援活動を行います。

### ▶産学官連携研究開発拠点運営経費 1,819万円（商工労働観光課）

産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」が開設されて2年が経過し、三重大学との共同研究の結果、商品化されているものもあります。今後も豊かな地域資源を活用し、産学官の連携による共同研究、新産業創出や人材育成を推進します。また、「ゆめテクノ伊賀」の適正な運営を補助するため、引き続き施設管理運営補助金を支出します。

## 5. 交流基盤

### ▶伊賀鉄道活性化促進事業 1億805万円（企画課）

伊賀線存続のため、伊賀鉄道(株)に対して運営費の補助を行うとともに、市民の移動手段の確保に努め、沿線の活性化を図ります。

また、利用促進を図るための児童や生徒の団体利用に対しての助成や、そのほかの利用促進に向けた取り組みを行います。

### ▶行政バス運行経費 9,122万円（企画課）

公共交通機関空白地域における高齢者などの移動手段を確保するため、生活路線としての行政バスを運行します。また、地域住民のニーズや利用実態を把握し、交通計画に沿った効率的な運行を行います。

今年度は、老朽化に伴う車両更新のためバス2台（島ヶ原行政サービス巡回車・阿山行政サービス巡回車）を購入します。

### ▶伊賀神戸駅前周辺整備事業 5,100万円（都市計画課）

伊賀鉄道伊賀神戸駅周辺は、鉄道・自動車の交通結末点として利便性の高い地域となっています。花之木古山神戸線は、伊賀神戸駅と現在建設中の主要地方道上野名張線を結ぶ路線で、今後、交通量が増えることから、伊賀神戸駅への円滑なアクセスと安全確保のため、道路拡幅による歩道の整備やバスの回転場所の整備を行います。

## 6. しくみ

### ▶住民自治協議会推進経費 1億6,160万円（市民生活課市民活動推進室）

各地区における住民自治協議会の運営および地域が主体となり取り組むまちづくり事業を支援します。自治基本条例の趣旨に則り、協議会と連携した新しいまちづくりを実施することで地域の活性化を図ります。また、今年度から地域包括交付金を交付し、住民自治協議会の財政支援と運営の推進を図ります。

### ▶市民活動支援事業 1,428万円（市民生活課市民活動推進室）

自治基本条例に基づき設置された市民活動支援センターの運営経費や地域まちづくり計画に基づいた事業への助成など住民自治協議会の支援を行い、個性的で魅力あふれる地域づくりを推進します。

### ▶庁舎建設事業 4億3,845万円（管財課）

今年度は、庁舎建設基本計画に基づき、新庁舎建設に係る基本設計・実施設計業務に着手し、本庁北庁舎などの解体に伴う事務所の移転を予定しています。



今年度の一般会計予算の歳入は、普通交付税などの増額を見込んでいますが、経済情勢の先行きには不安が残り、また国が現在おかれている各種状況などにより、一段と厳しい財政運営になるものと予想しています。一方、歳出は、人件費や補助費等を抑え、予算規模が大きくならないように努めていますが、今年度は市街地再開発事業での投資的経費や繰出金、少子高齢化による扶助費などが増え、前年度に比べ5.4%増加しています。

なお、人件費や公債費、扶助費といった義務的経費の比率は依然として高く、財政構造の硬直化が進んでいるため、行財政改革大綱に基づき一層の行政運営の効率化を図るとともに、積極的にスクラップアンドビルド\*を推進し、身の丈にあった財政運営と健全化に努めていきます。

\*スクラップアンドビルド：予算の肥大化を防ぐために、それまでの予算や組織にとらわれることなく統廃合すること